

やさしさのあるまちづくり

バリアフリーの推進

安全・安心・快適なまちづくり事業
1,500万円

民間施設のバリアフリー改修、授乳室や親子トイレなどの子育て支援施設の整備について助成します。

バリアフリー対策事業
2億6,600万円

道路や歩道の改良に加え、冬期や夜間の歩行者の安全を確保する「誘導ブロック融雪システム」や「知らせるあかりシステム」を増設します。



知らせるあかりシステム

手話通訳者等養成事業
130万円

手話奉仕員養成講座を拡充して開催するほか、手話通訳者養成講座などの受講に対する助成をします。



今年の講座は定員を超える好評ぶりでした

子育て環境の充実

母子保健事業
1億568万円

特定不妊治療に対する助成などを継続するほか、14回の妊婦健康診査についても助成します。

子ども医療費の助成
3億4,400万円

義務教育修了までの医療費の自己負担分を助成します。

保育料軽減事業(公立・私立)
5億4,137万円

第1、2子の保育料軽減、第3子

以降の無料化を行います。

私立幼稚園就園奨励助成事業
5,300万円

第1、2子の保育料軽減、第3子以降の無料化を行います。

乳幼児保育等助成事業
2,300万円

無認可保育所の乳幼児保育や延長保育、障がい児保育などへの助成のほか、第2子までの保育料軽減、第3子以降の無料化を行います。

児童扶養手当の給付
3億2,100万円

これまで母子家庭などに支給対象が限られていましたが8月分からは父子家庭も対象となります。

子ども手当(児童手当)の給付
18億1,850万円

中学校修了までの児童を対象に1人月額13,000円を支給します。

子どもにやさしいまちづくり推進事業
651万円

託児ボランティア団体への助成のほか、地域子育てスタッフの育成を推進します。

障がい児療育事業
4,238万円

障がい児の機能訓練など支援サービスの対象を小学3年生までに拡大します。

健康・福祉の推進

介護保険事業
78億4,891万円

各種保険給付、介護予防事業を行います。

国民健康保険事業
106億696万円

各種保険給付や直営診療所の運営を行います。

障がい者生活支援事業
2,305万円

身体・知的・精神障がい者に対する相談支援に加えて、発達障が

今年の予算
ピツクアップ

平成22年度は、まちづくりの指針である第七次総合計画の後期基本計画のスタートの年となります。新年度予算では、新しい事業や拡充された制度がたくさんあります。そうした取組みについて総合計画の分野別・地域別目標ごとに主なものを紹介します。

い者に対する相談支援を行います。

保健予防事業
2億6,277万円

一定年齢の方に対して、子宮がんや乳がんの検診の無料化を行います。また、健診結果をもとにした保健指導も積極的に行います。

医師確保等支援事業
1億1,700万円

医療機関の非常勤医師確保への助成対象を全診療科を対象とするほか、臨床研修医の研修について助成対象を拡大し、医師の確保に努めます。

24時間電話医療相談
790万円

飛騨市、白川村と共同で健康相談、医療相談を24時間体制で受け付けします。相談は医師や看護師が対応します。

救命救急センターの運営等助成
4,000万円

救急医療を守るため、高山赤十字病院内に設置されている救命救急センターへ助成します。

小児夜間初期救急診療支援室の運営助成
300万円

久美愛厚生病院内に設置する小児夜間初期救急診療室への助成を行います。